

# 熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町  
楓ヶ丘2-2-1 かわせみハウス  
NPO法人はとやま環境フォーラム気付  
メール kawasemi3001@gmail.com

☎049-227-3001 FAX049-272-7092 ホームページ <https://hatoyama.info/>

## 3・4月の活動予定

### ■話題の「協生農法」についてのzoom説明会

生物多様性と生態系機能を高める協生農法

ソニーCSLに聞く!! (ネット会議)

## 協生農法説明会

無耕起、無農薬、無肥料で

### 自然と協力する農法

鳩山で実施可能か!

興味のある方、絶好の機会です。  
ぜひお越し下さい! 参加費無料

日時:2024年3月5日(火) 13:00-15:00  
会場:かわせみハウス(鳩山ニュータウン中央場ヶ丘郵便局横)

昨年、NHK テレビなどで紹介され、「生物多様性と生態系機能の向上に貢献できる」と大きな反響があった「協生農法」。その研究推奨活動を行っているソニーCSL(ソニーコンピューターサイエンス研究所)の担当者からインターネット(Zoom)会議で「協生農法」について話を伺います。

(主催)NPO法人はとやま環境フォーラム  
Tel:049-227-3001 mail:kawasemi3001@gmail.com

生物多様性と生態系機能の向上に貢献できるという「協生農法」は、耕作放棄地があちこちにある鳩山町でも実施可能なのか。その研究推奨活動をしているソニーCSLの担当者にzoom会議で話を伺います。ご参加ください。

## 3・4月 その他の活動予定

- 3月 3日(日) 8時半～ 資源回収
- 3月 5日(火) 午後1時半～ 協生農法Zoom説明会
- 3月12日(火) 3月定例理事会&例会
- 3月27日(水) 「熊井の森通信」28号発行
- 4月 7日(日) 午前8時半～ 資源回収
- 4月 9日(火) 午前9時～ 4月定例理事会&例会

## 2月の活動報告

### ■石場沼横の崩落トレイルの道普請作業



2月17日(土)、奥武蔵MTB友の会の方々15人と、当団体からは4人が参加して、先の大津被害で崩落した石場沼横のトレイルの復旧作業を行いました。土を盛り、幅1メートル程に均して安全に通れるように整備。これで山作業もやりやすくなります。

### ■埼玉未来大学ライフデザイン科で講演



2月8日(木)午前10時より、ウエスタ川越会場で「鳩山町で里山保全・活用活動に関わる理由」をテーマに講演。50歳以上が参加条件の全30日(授業料4万円強)の授業を聴きにいられた方々がなんと約100人も。

## ■ジオラマづくりの材料集めに熊井の森へ

2月11日(日)10時、ハトムギ栽培チームの女性メンバー4人で、2月16日から開催の写真展会場につくる熊井の森のジオラマ(再現オブジェ)の材料集めに行ってきました。トラスト地にはお茶の木が何本も自生していて、「今度、みんなでお茶摘みして自家焙煎して飲もうよ」と、日程まで決まり、思いがけず山菜取りもできました。皆さん満面の笑顔なのもそのせいかも。余談ですが、予定日が雨降りでお茶摘みが出来なくなったので、代りに、他の人も誘って、フランス人のゾーエさん宅で紅茶パーティーをしました。来月からは月2回、何やかやと集まりまーす。



## ■あなたの知らない鳩山の絶景写真展を開催



2月16日から20日まで、鳩山町コミュニティ・マルチ研修室で開催しました。町内外の知人・友人、それに「ポスターを見た」という方や写真に興味がある方など、5日間で総勢100人(記帳者数74人)ほどが来場されました。

入口の部屋には、大きくプリントされた『鳩山の絶景写真』9点と、環境フォーラムの活動紹介パネル、冬の森を模したジオラマが展示され、奥の部屋には、第7期写真学校講師と受講者の写真19点とフレーム入りの写真30点ほどが展示されました。

特に好評だったのは、ドローン撮影で空から見る熊井の森の大きさや木々の多さ、夕空に虹がかかる写真や夜景の桜並木の美しさ、モミの大木などの写真でし

た。また、写真学校受講者の写真では、色の美しさやそれぞれの人の個性が感じられる、などの感想を聞くことができました。活動紹介パネルに目をとめてくれる方からは「森を歩けますか」とか「どこから森に入れますか」などの質問が多くあったのですが、その人たちに、森を歩き親んでもらう機会について、具体的なことを伝えられなかったのが残念で、「今年は月に一度、森を歩く企画を考えています」とか「かわせみハウス前にポスターを掲示しますので、見てください」などと話しました。これからはもっと『熊井の森』を紹介する機会が多くなるように思うので、そのあたりのことをしっかり伝えられるようにすることの大事さを感じました。



た。また、写真学校受講者の写真では、色の美しさやそれぞれの人の個性が感じられる、などの感想を聞くことができました。活動紹介パネルに目をとめてくれる方からは「森を歩けますか」とか「どこから森に入れますか」などの質問が多くあったのですが、その人たちに、森を歩き親んでもらう機会について、具体的なことを伝えられなかったのが残念で、「今年は月に一度、森を歩く企画を考えています」とか「かわせみハウス前にポスターを掲示しますので、見てください」などと話しました。これからはもっと『熊井の森』を紹介する機会が多くなるように思うので、そのあたりのことをしっかり伝えられるようにすることの大事さを感じました。

# Embody the PONDs ～沼を認識すると人は表現者になる～

PONDALIZE代表/アートコーディネータ

小林 三悠



▲沼の民俗創作ワークショップ

初めまして。PONDALIZE (ポンドライズ) の小林三悠です。PONDALIZE (通称：沼タイズ) は、埼玉県比企郡にある沼のほとりに暮らし、沼にまつわる文化を自由に創造・発信する人たちによる活動です。突然、” PONDALIZE (ポンドライズ)” という馴染みのない言葉が飛び出しました。はて?と思われた方へ、ここで少し説明させていただきます。この「PONDALIZE」は、実は私がつくった造語で、POND (沼) をREALIZE (認識する) という動詞です。私は、2020年春からここ比企丘陵に暮らし始めたのですが、コロナ禍で人と出会う機会が少なく、近所の森や丘を頻繁に散歩していました。散歩中にあちらこちらで沼にでくわし、まさに沼を認識させられる土地柄であるランドスケープに驚かされたことを覚えています。

私は、埼玉県熊谷市に生まれましたが、高校卒業後は、故郷を離れ、アメリカ西海岸オレンジカウンティ、マウイ島ハイク村、京都府美山町、岐阜県旧根尾村、沖縄県今帰仁村、等といわゆる田舎や限界集落へ移住定住を繰り返し暮らしています。その背景には、発達教育学研究者として、またダンサーとして、現代人の【身体】が求める地産地消の【舞台芸術のあり方】を模索したいという思いがあったからですが、そんな関心を持った私にとって、埼玉県比企郡を舞台とする【沼と人】から発生するバナキュラーな文化に心を奪われるまでにそう時間はかかりませんでした。

無数の沼の存在は、時間帯や季節を変え訪れると、機能や情景、集まる動植物がまるで変わります。花鳥風“沼”と言わんばかりに変容する沼の色、香り、音を鑑賞しに行き、写真を撮影したり、フィールドレコーディングをしたり、録音した音や写真を題材に曲を創作したりして今様を堪能しておりました。そう言った日々が続くと、次第に沼で釣りをする方や沼の水管理をする方と顔見知りとなり、お話を伺うようになりました。すると、かつて比企郡滑川町福田に住んでいた私の祖先は、沼キチガイと呼ばれるほ

ど、沼へ頻繁に通い、家族ぐるみで沼の堤や水を手厚く世話する住人で、沼水を使う溜め池農法を得意とする民だったことを知ります。沼に惹かれるのは血筋であったか、となおさら面白く思えて、谷津沼で米づくりをはじめ、さらに調べていくと、比企郡民は沼にまつわる食、芸能、信仰にも深く独自の沼文化を形成した民であることを知ることとなります。

それからは、引っ越してきてから知り合ったご近所さんや以前の仕事仲間を招待し、春には沼の音風景に耳を澄ますフリースタイル茶会を開き、夏には谷津沼の田植えと田草とりで勤しむ生活が始まります。何しろ、秋には甘くてふっくらと炊き上がる新米を頬張る暮らしに心踊る思いでした。移住して2年目には、沼で見聞きした物語や虫や鳥、草木の音をモチーフに沼の民俗曲が仕上がり、はとやま環境フォーラムさんの写真展や熊井学研究会のなかで演奏させていただきました♪

こうして、年を経るごとに独自の沼文化を創造し続けていたある日、私以外の人、例えばシェフや音楽家、工芸作家らが沼に触れながらここ比企で暮らしたら、一体どんな文化を生みだすだろう、と考えるようになりました。これが谷津沼と社会をつなげる芸術文化活動：PONDALIZEというアート・ムーブメントの始まりです。初年度には、沼タイズ・スタディーズと称し、沼と暮らしにまつわる歴史、民俗信仰、食農文化に関するフィールドワークを実施し、地域の方々と座談会を開きました。

比企郡民以外の方を迎え入れる準備として、暮らしの地続きで求める情報発信や行動がワクワクする沼文化づくり



▲スロベニア出身アーティストとの協働製作の様子

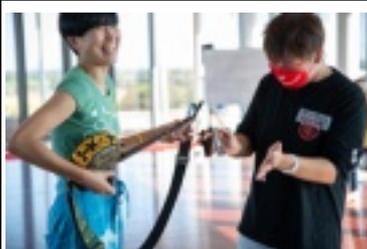
につながった自身の経験から、希望者が一定期間比企郡滑川町に滞在し、作品制作をしてもらえる「ショートステイ・プログラム」をつくり参加者を募りました。このショートステイ・プログラムを通じて、集まったアーティストらにより、沼の小作品集が生まれ始めたのでグループ展：沼タイズ「沼を認識すると人は表現者になる」をテーマに滞在场所と発表の場を提供するアート展を実行する仲間をさら

に募集しました。結果、大学生、研究者、社会福祉施設職員利用者、作家、パフォーマーなどが集まり、比企郡内（嵐山町、鳩山町、小川町、滑川町）にて10数名による造形作品展示とパフォーマンスを開催したり、沼つながりで様々な沼と表現のあり方を体感したりすることができました。

3年目には、活動を認知され、埼玉県文化推進基金（社会とつながる文化芸術活動事業）やオランダ王国大使館（広報・政治・文化部）より助成金を得ることができました。2023年は、「沼と生物文化多様性」を主題に海外アーティストに呼びかけました。比企郡での滞在の機会と地域住民やローカルアーティストらとの交流、発表の場を設けることを提案したところ、夏から冬にかけて6名4カ国の海外アーティストが滑川町福田に滞在してくれました。滞在中は、福田の獅子舞を習い、谷津沼の稲刈りをし、新米を分かち合いました。交流としては、町内の児童発達放課後デイセンターや保育園の子供たち、県内の障がい者福祉施設からは利用者とスタッフらと交流しながら沼の民俗音楽の創作と鑑賞会を行うことができました。

今年度、海外アーティストと比企郡外に住む方々らとの交流から始まり→作品制作→音楽鑑賞会を開催し、感じたことが大きく2つあります。一つ目は、参加者は、沼の音楽活動を介して沼に対する暗いイメージやため池農法の苦勞の多いエピソードがポジティブなイメージに変容し、ユーモアを持って語られる言葉が増えたことです。二つ目は、海外アーティストや郡内の子ども達、障がいのある方の視点を取り入れることによって、これまでにない沼との関わりや場が生まれたことは、ここに住む私らの何よりの知的財産となりました。

私たちに新たな文化的共有地をもたらししてくれた沼。今年度の活動を通じて比企郡民のみならず、世界にもこの沼を慈しむ仲間がいることに気づかされました。これからも、沼とともに生き暮らす文化を自由に創造する人々と集えたら。かつての沼守もそうであったように、沼と共にある生物文化多様な生態系がいついつまでも息づいたら。比企丘陵にある沼が世界の人たちと【分かち合える共有地】になったら、そんな心踊る想いで沼タイプはこれからも活動しよう、と唄っていきます。Do You PONDYZE? あなたの沼文化、私たちと一緒に語り継ぎませんか？



【小林三悠 プロフィール】オリエンタルランド株式会社にてパフォーマーをつとめたのち、カリフォルニア芸術大学卒業。フリーのパフォーミング・アーティストとして活動を開始。踊れて治せるケアパフォーマーとして理学療

法士や子育て文化教育団体、公共施設、大学、企業などと連携し、講師業を20年以上続けている。埼玉県移住後、国や県が取り組む障害者芸術文化活動支援事業を様々な医療、福祉現場より委託。社会と芸術、身体と表現を結んでじんわりアートが生まれるような暮らしを實踐中。事務局：埼玉県比企郡滑川町福田10-1（CreativePoewrGarage101内）

## 二一八才 熊井の森歳時記

### 冬の森を元気に見せてくれるアオキ



▲アオキ

先日、友達と熊井の森までハイキングに行ってきました。冬の森が明るくて、広く眺望できるので、怖いものなしの調子でどんどん奥まで進むことができました。

細い道を歩いてたときに、両側の所々に生えてる低木が目につきました。光沢のある大きい葉っぱがつつやして、幽玄ささえ感じる独特な美しさ。よく見たら、莖も葉と同じ緑色です。そう、アオキです。この時期なのに、まだ緑の実が付いています！

アオキは雌雄異株であり、オスの木には実がならないため、昔は「バカ」と呼ばれたらしい。それって、差別気味な呼び方ですよ。 「二月晴青や紅なる青木の実」という俳句がありますが、冬には緑色だった実が見事な鮮やかな赤い実に変身して、ヒヨドリやムクドリが実を運んでくれるおかげで、いろんな場所に新しい生命が芽吹くのです。

アオキはヤツデ、ヒイラギとともに日陰と寒さに強い常緑樹なので、やや寂しい冬の森を元気に見せてくれます。散策する際に、ぜひ探してみてください。（王菲）

### 熊井の森トラスト基金へ支援金を

★1口5,000円から

<振替口座>

■ゆうちょ銀行

記号番号 00210-4-143207

加入者名 熊井の森トラスト基金

<普通口座>

■ゆうちょ銀行 支店 〇三八

口座番号 9472664

口座名義 クマイノモリトラストキーン

（熊井の森トラスト基金）

★年会費3,000円支援の場合

■ゆうちょ銀行

店名 〇三八 店番 038 普通預金

口座番号 96656981

口座名義 くりはらかわのり